

国際学会「Informal Learning and Digital Media: Constructions, Contexts, Consequences」 において研究発表

2006年10月21日 文責：森本洋介

去る2006年4月、故鈴木みどり氏からパンフレットを頂き9月21日～23日に南デンマーク大学で開催された標記の国際学会へ参加を勧められた。発表テーマを設定するにあたり、「海外では日本の取り組みについてあまり知らないの、この発表で日本の状況や本研究プロジェクトの紹介をするとおもしろいのでは」というコメントも同氏から頂いたので、「Creating new site of learning media literacy by the community center's initiative- To educate new citizenship that can survive media society - (邦題：コミュニティ・センターの initiative でメディア・リテラシーの学びの場をつくる—メディア時代を生きる市民 (new citizenship) を育てるために—)」というテーマで発表を行うことになった。

高槻メディア・リテラシープロジェクト第4回研究会では、本学会の特徴とプログラムについて発表する。なお、発表の要旨については第3回研究会の報告を参照されたい。

1. 学会の特徴

・非常にボリュームが多い

通常の日本の学会だと土日の2日間だが、本学会は3日間ともすべて基調講演（全体講演が5件、2つの部屋で異なるテーマの講演が2件）と分科会（合計49件）、ラウンドテーブルで構成されており、夕方からは任意でイベントに参加という形式になっている。各セッションの間は20分程度のコーヒープレイクが入り、発表者に対して個別に気楽に質問したり、参加者同士の交流の場になっていたりした。

・学際的

インフォーマルな学習についてICTと絡めて研究している研究者や、ICTテクノロジーについて研究しており、それを教育にどう活かすかという研究者が参加していたため、理系と文系の人間が混ざるといふ学際的な研究発表の場になっていた。参加者はヨーロッパ（特に北欧とイギリス）からの参加が多く、アメリカの人間が多少、アジアからは森本一人だった。参加者の学術的な背景としては、社会学、認知心理学、教育学などであった。

日本でメディア・リテラシーをやっている人間にとっては、専門の学会がないため、教育社会学や教育工学はもちろん、教育方法学や心理学などの研究者自身のディスziplinに沿った場でしか発表の機会がないのが現状である。そのため、研究実績が一箇所に蓄積されることがなく、散在し、お互いにコミュニケーションする機会もない。本学会では media education という言葉がメディアについての教育であるメディア・リテラシー教育と、メディアを通しての教育である視聴覚教育とが両方含まれているという共通認識が形成されているように思われた。発表者はメディア・リテラシーの人間もいれば、視聴覚教育の人間もいるが、多くの人間は互いを尊重して議論をしているように思われた。だからこそ、リテラシーの根本的な概念を問い直したり、インフォーマルとフォーマルの概念の区別についての議論をしたりということができるのである。

ただ不満を言えば、分科会での発表が部屋ごとにテーマ統一されておらず、分科会としては散漫なイ

メッセージを受けた。例えば教育方法部会、ICT 技術部会、インフォーマルラーニング部会などのように分科会の部屋にテーマが設定されていれば、もっと有意義な大会になっただろう。

・ビッグネームが多数参加

Julian Sefton-Green、Sonia Livingstone、James Paul Gee や Glynda Hull といった、media education や言語学、インフォーマルラーニングなどの分野では名の知れた有名人が講演を行っており、特に若手研究者にとっては彼らと知り合いその知見を得るためのまたとない機会である。やはり直接その人柄に触れ、コミュニケーションをとることで、文献の書かれた背景などを知り、より理解が深まる。彼らはイベントにも積極的に参加していたため、まさにインフォーマルな場で交流ができていた。

2. 学会の概要・プログラム

日時：2006年9月21日～23日

場所：南デンマーク大学（コペンハーゲンから電車で約2時間の Odense という街に位置する）

主催：Dream (Danish Research Centre on Education and Advanced Media Materials) Institute for Literature, Cultural and Media Studies, University of Southern Denmark.

プログラム（途中にコーヒーブレイクやランチタイムあり）

21日（木）

10:00-11:00 基調講演1 Kirsten Drotner

11:20-12:30 分科会 A

13:30-15:00 分科会 B

15:20-16:30 基調講演2 Sonia Livingstone

19:00 市庁舎での歓迎会

22日（金）

9:00-10:00 基調講演3 Julian Sefton-Green

10:20-12:00 分科会 C

13:15-14:15 テーマアドレス1（2部屋に分かれて講演）

14:45-16:30 ラウンドテーブル

19:00 Gala dinner（参加者同士で夕食会）

23日（土）

9:00-10:00 基調講演4 Glynda A. Hull

10:20-12:00 分科会 D（発表を行ったのはこの時間帯）

13:15-14:15 テーマアドレス2（2部屋に分かれて講演）

14:45-15:45 基調講演5 James Paul Gee

15:45-16:00 閉会の挨拶

プログラムの詳細については Dream のホームページに掲載（英語とデンマーク語のみ）

URL：<http://www.dream.dk/>